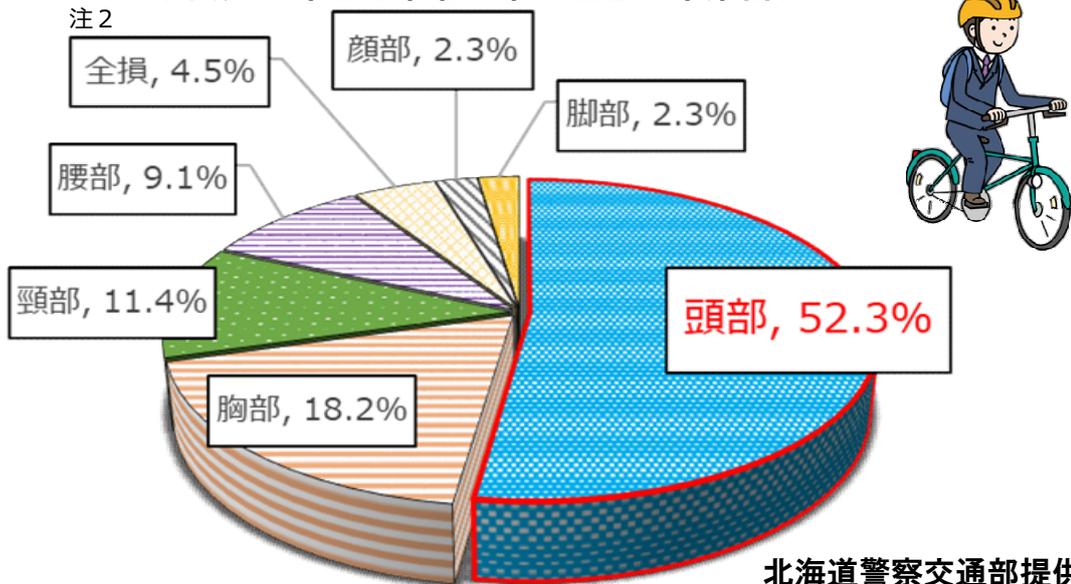


約52%が頭部に致命傷

道内の自転車乗車中の死者約52%が頭部に致命傷を負っています。

道内における自転車乗車中死者の人身損傷部位(注1)
(平成30年から令和4年の過去5年累計)

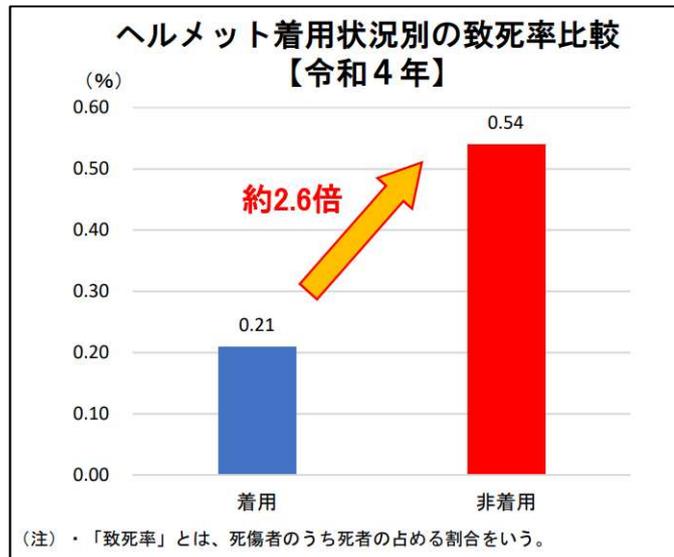


注1 「人身損傷部位」…損傷程度が最も重い部位をいい、死亡の場合は致死傷の部位をいう。

注2 「全損」…人体に損傷が多数あり、致命傷が複数の場合をいう。

ヘルメット非着用時の致死率は約2.6倍

自転車乗車中の乗車用ヘルメット非着用時の死傷者に占める死者の割合(致死率)は着用時に比べて約2.6倍高くなっており、頭部損傷が重大な事故につながりやすいことがわかります。



出典:警察庁公表資料